

製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。  
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご相談ください。

## 基本構成



本体  
(Wi-Fiモジュール内蔵)



電源接続ケーブル



SmartReco専用  
microSDカード



microSDカード  
リーダー



左側カメラ#1  
ウィンドウ用ブラケットウィンドウ用ブラケット  
両面テープ



右側カメラ#2  
ウィンドウ用ブラケット  
両面テープ



本体固定両面テープ



取扱説明書



カメラ延長ケーブル  
(4m)



カメラ延長ケーブル  
(7m)



GPSモジュール

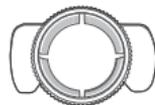
## オプション(別売)



トリム用ブラケット (黒)  
両面テープ

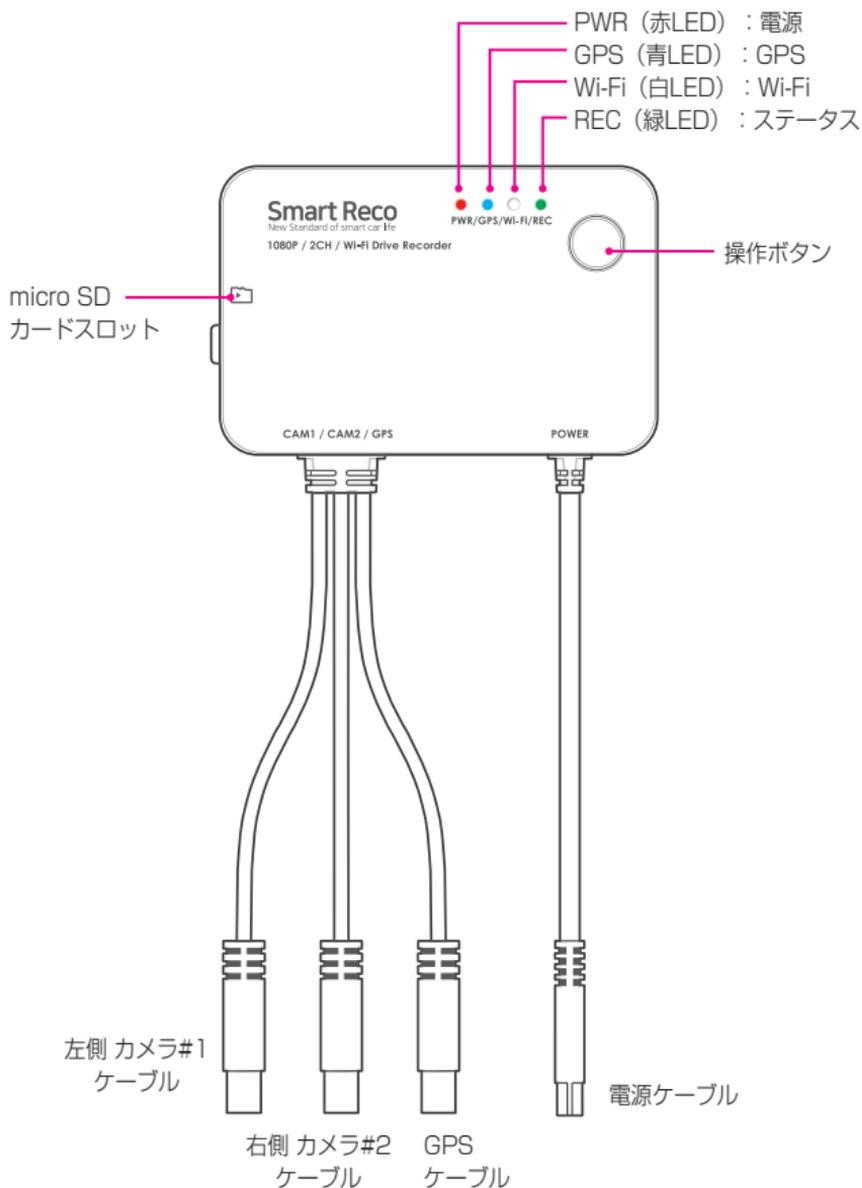


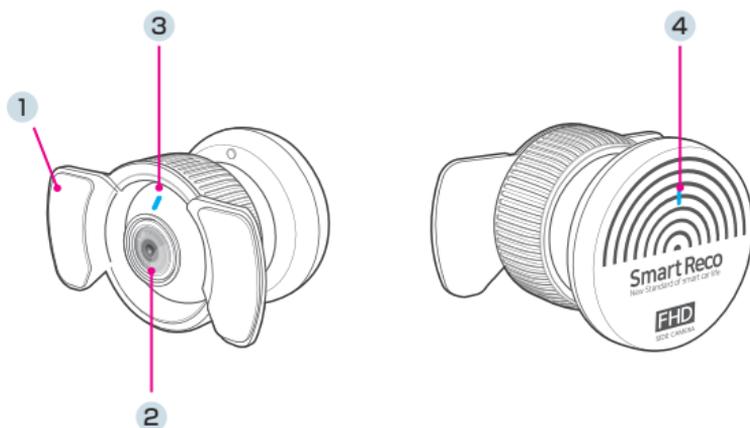
トリム用ブラケット (透明・小型)  
両面テープ



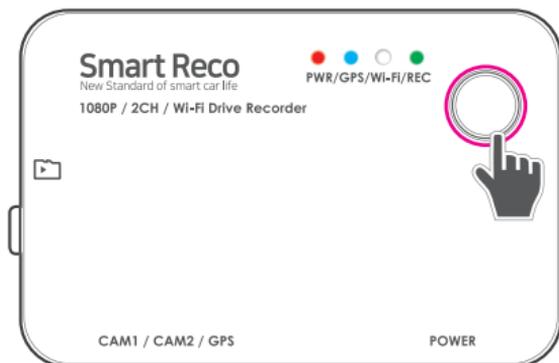
ウィンドウ用ブラケット  
両面テープ

※ カメラ取付ブラケットは、セット内容により異なります。  
上記付属品は予告なく変更される場合があります。  
(上記はイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)





名称	説明
① ウィンドウブラケット	ガラスとサイドカメラの接着面
② カメラレンズ	サイドカメラレンズ
③ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON/OFFできます。
④ ステータスLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDは消灯します。 ※ 設定でON/OFFできます。



本体の操作ボタンを6秒以上長押しすることで電源をOFFにできます。長押し時、1秒ごとに「ポーン」と音がします。6回音がした次の音で電源がOFFになります。

## 駐車監視モードのONおよびOFFの切り替え方法

常時録画中に本体の操作ボタンを4秒長押しすると、駐車モードのON / OFFを切り替えることができます。

切替時に「駐車モードON」または「駐車モードOFF」の音声案内が出力されます。

「駐車監視モードOFF」設定時、車両のエンジンをOFFにすると、ドライブレコーダーの電源がOFFになり、駐車中に録画をしません。

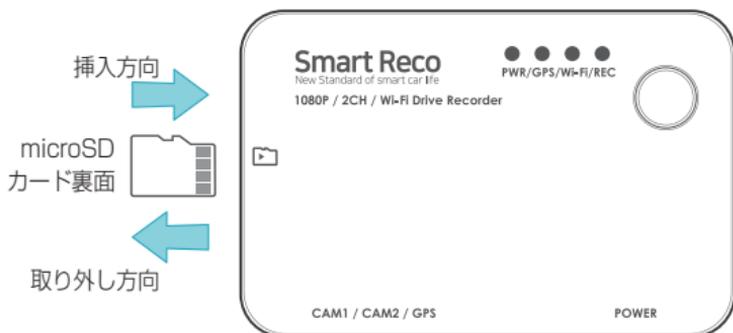
※ スマートフォンアプリでも駐車監視モードのON / OFF切替操作が可能です。

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。

## 挿入方法

microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

※ 向きにご注意ください。



## 取り外し方法

挿入されたmicroSDカードを一旦奥に押し、ゆっくり手を放してください。



**注意** 「損傷または物的損害が発生する恐れがある」内容です。

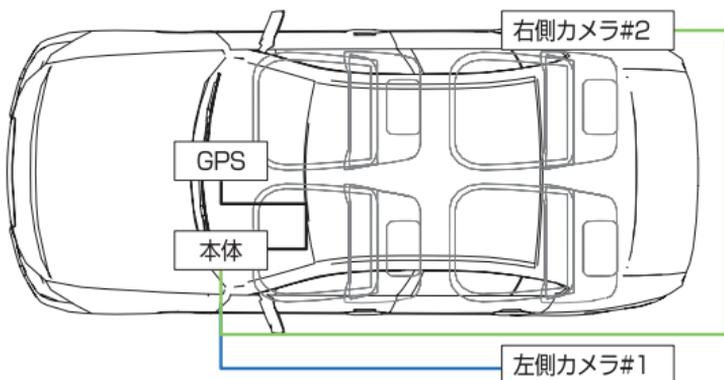
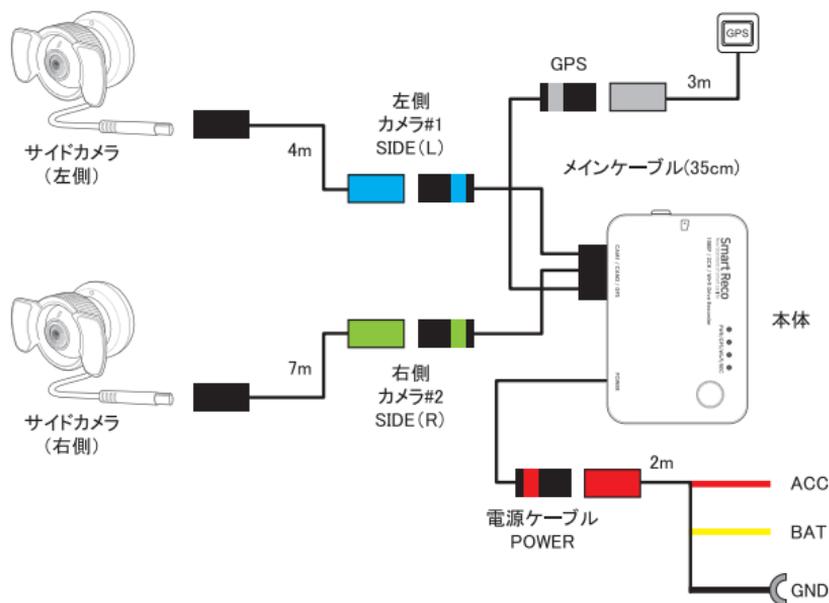
※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードが損傷する可能性があります。損傷が発生した問題に対して弊社は一切の責任を負いません。

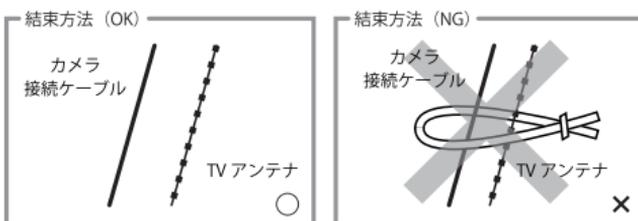
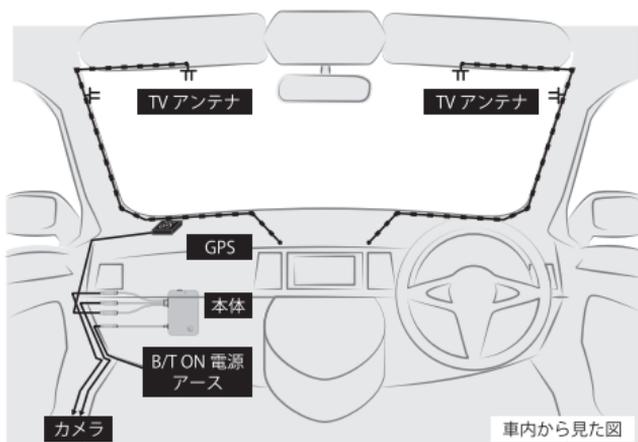
## メモリーカード使用の際の注意事項

- ・メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合、正常に録画がされない場合があります。製品寿命を経過したメモリーカードは交換してください。
- ・製品の正常作動を確認するため、週1回以上データの確認をおすすめします。
- ・メモリーカードは必ず純正品をご使用ください。純正のメモリーカード以外のカードを使い、起こった問題などに関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- ・重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途パソコン・スマートフォンにバックアップを取ることでデータの紛失を未然に防止することができます。

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。
- 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- SRS（エアバッグ）等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
- ガラスの塗装部分及び遮光フィルム・熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び遮光フィルム・熱線などが剥がれる恐れがあります。
- 本製品を装着したガラスは常にきれいにしてください。
- 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。

## 接続図

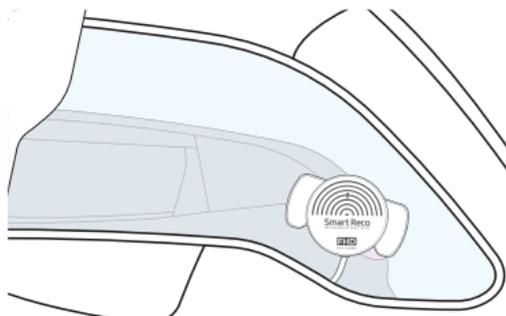




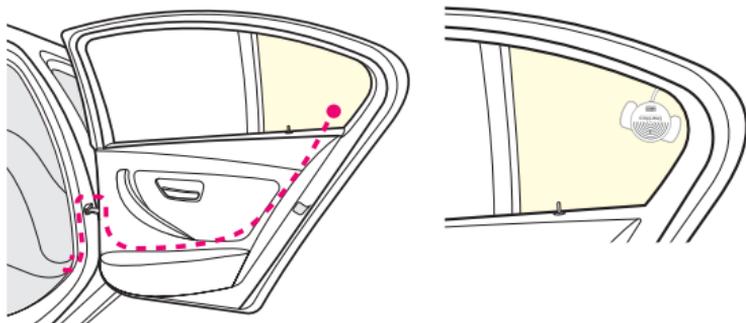
- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中はテレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビ・ラジオを同時使用して発生した電波障害は、保証の対象になりません。予めご了承ください。

## サイドカメラの取付

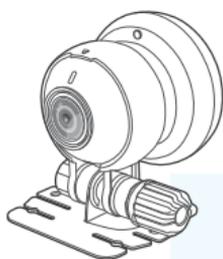
- ワゴン・SUV・ミニバン・クーペ等のリアクォーターガラスが設定されている車はリアクォーターガラスにサイドカメラを取り付けてください。



- ハッチバック・セダン等でクォーターガラスが無い車種は、リアドア内張を通して可動しないリアドアガラスの三角窓に設置してください。

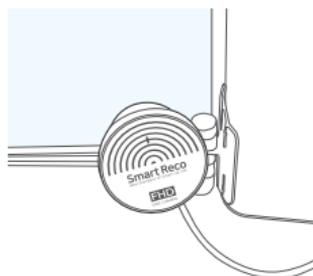
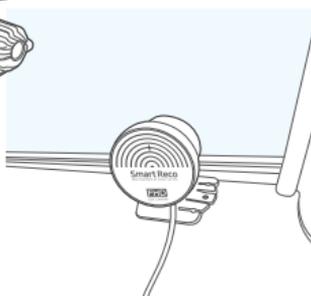


- 一部コンパクトカー・ハッチバック等のリアドアガラスが全て可動する車種は、オプションのトリム用ブラケットを使用し、サイドカメラをドアトリムや車内の内装に取り付けてください。



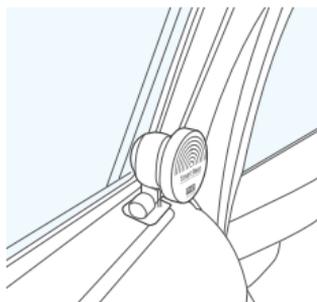
#### トリム用ブラケット（黒）

接地面をある程度曲げることができるため  
様々な設置が可能です。

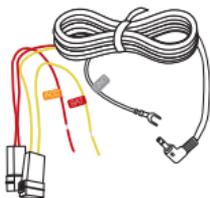


#### トリム用ブラケット（透明・小型）

接地面が小さいため  
ブラインド付きドアにも取付が可能です。



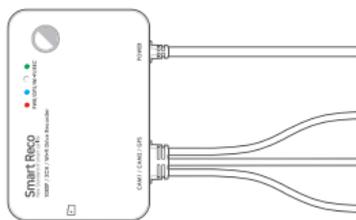
- ① 電源ケーブルを車両に接続します。ただし、本体メインケーブルと電源ケーブルの接続はカメラ、GPSモジュールがすべて接続された後、最後に接続してください。



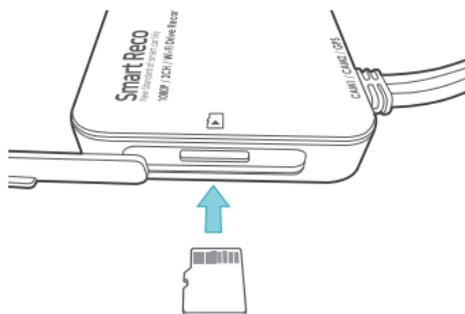
※ 電源の接続は、専門店（正規ディーラー、販売店等）で行ってください。  
配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

- 黒色：GND（アースポイント）
- 赤色：ACC（エンジンがONの時、電源が供給される箇所）
- 黄色：BAT（エンジンON / OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所）

- ② 本体メインケーブルの各配線にカメラ、GPSモジュールを接続します。



- ③ カバーを外し、microSDカードスロットに付属のmicroSDカードを接続します。



- ④ 各カメラを設置するガラスの脱脂作業を行います。



- ⑤ カメラのレンズ保護フィルムをレンズ面に触れないよう丁寧に外してください。

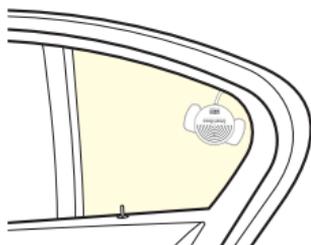
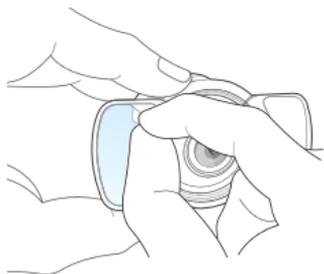
※ レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画面質が低下します。



- ⑥ カメラブラケットの両面テープフィルムを取り外した後、リアクォーターガラスに接着してください。

カメラを内装に取り付ける場合は、トリム用ブラケットを使用してください。

※ サンシェード付き車両は干渉しない場所に設置してください。



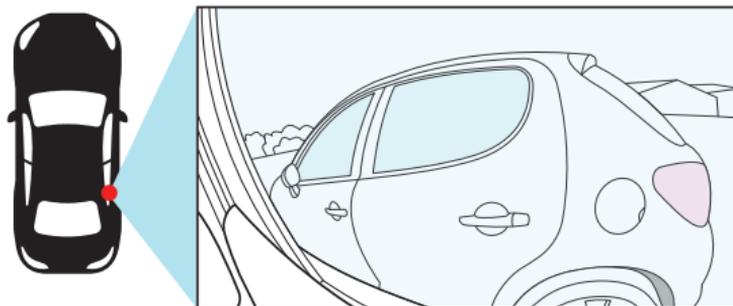
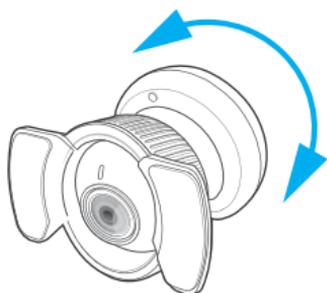
- ⑦ エンジンON後、録画の開始を確認してください。  
スマートフォンアプリに接続して、リアルタイム画面を確認してください。
- ⑧ スマートフォンアプリでリアルタイム画面を見ながら撮影角度を調節してください。

## カメラ

カメラ部分を回して左右画角、上下画角を調整してください。

上下が逆になる場合はスマートフォンアプリ設定で「上下反転」設定を行ってください。

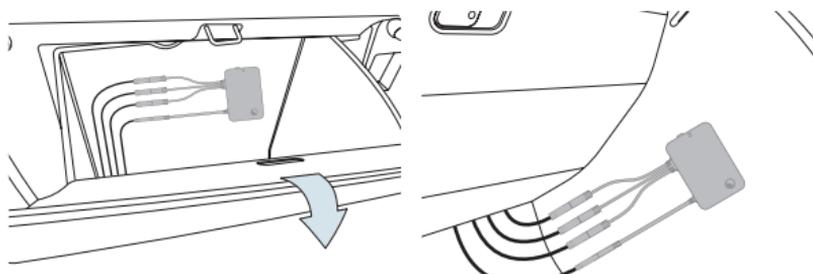
360° 自由に回転できます



※ カメラをフロントガラスに取り付ける場合、フロントガラスに取り付けたカメラの常時LED設定をOFFにしてください。

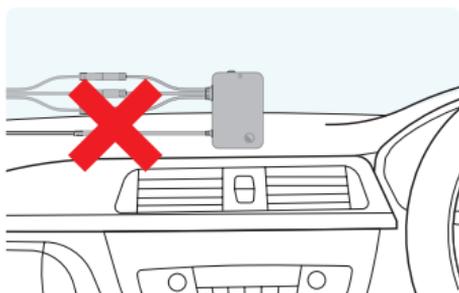
- ⑨ 本体に両面テープを貼り付け、センターコンソール付近、もしくはグローブボックス内に設置し本体を固定します。

音声案内が聞き取りやすいセンターコンソール付近を推奨いたします。

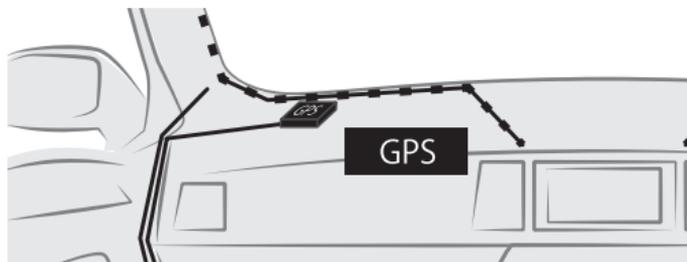


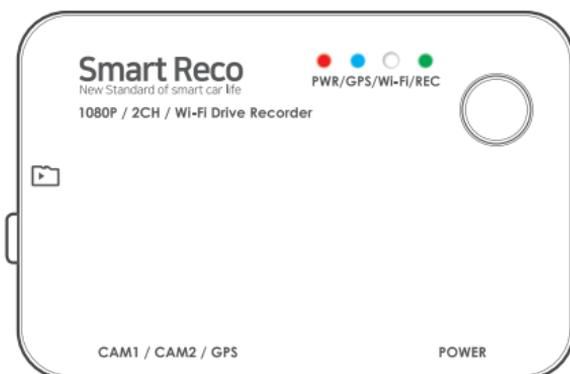
**注意！**

本体をダッシュボードに設置しないでください。高熱になり安定動作しない可能性があります。



- ⑩ GPSモジュールをAピラー内、もしくはフロントガラス付近に両面テープで設置します。



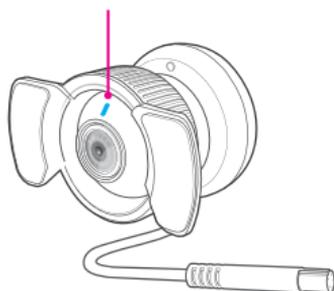


## [ LED動作 ]

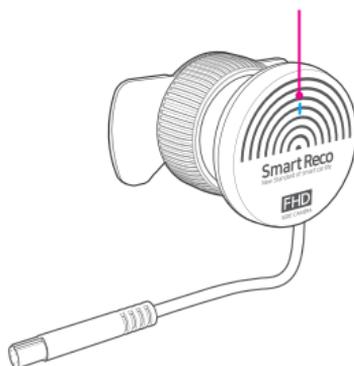
表示	色	機能	動作方法
PWR	赤	電源	点灯 (正常) 点滅 (システムエラー) 消灯 (OFF)
GPS	青	GPS	受信 (点灯) 未受信 (消灯)
Wi-Fi	白	Wi-Fi	点灯 (使用中) 10秒間点滅 (アプリ接続時) 消灯 (使用しない)
REC	緑	ステータス	点灯 (録画) 点滅 (イベント録画)

フォーマット時は、すべてのLED点滅。  
起動時、正常動作前まですべてのLED点灯。

セキュリティLED



ステータスLED



## [ セキュリティLED動作 ]

	設定値	通常	イベント
常時モード	ON	点灯	点灯
	OFF	消灯	消灯
駐車モード	ON	遅く点滅	早く点滅
	OFF	消灯	消灯

## [ ステータスLED動作 ]

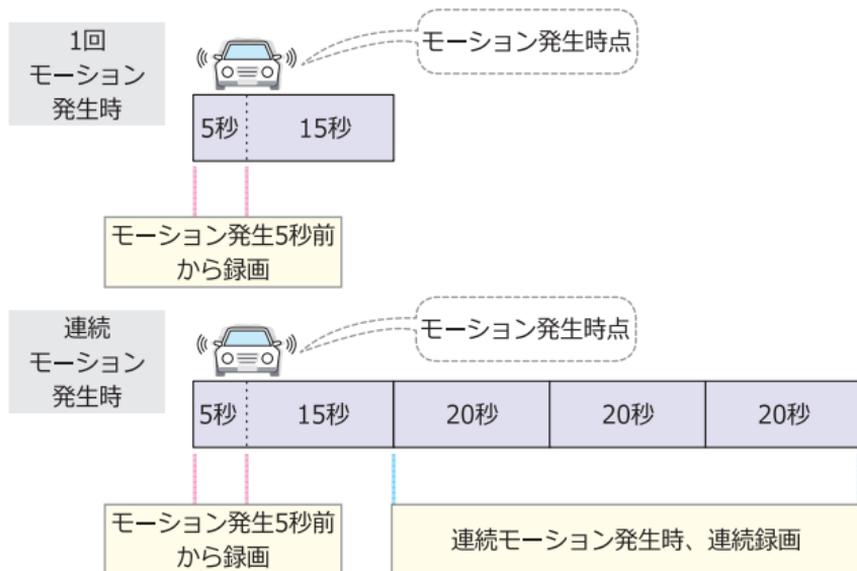
	LED状態
常時モード	点灯
駐車モード	消灯

 駐車ファイル

 駐車イベントファイル

### ■ 駐車モーションファイル

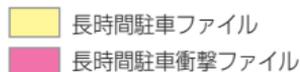
- 駐車モード中にモーションが発生した場合、モーション発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次の駐車モーションファイルは5秒前の映像なしで映像を録画し続けます。



### ■ 駐車イベント(衝撃)ファイル

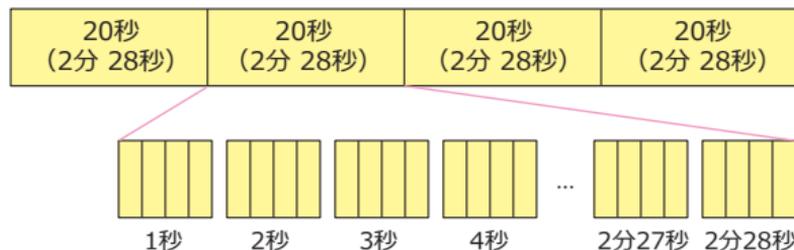
- 駐車録画中に衝撃が発生した場合、衝撃発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像衝撃ファイルで録画します。





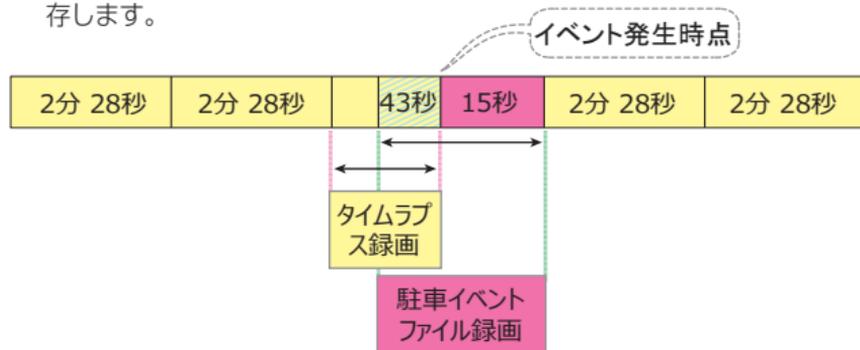
### 長時間駐車ファイル

- 1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分28秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。



### 長時間駐車衝撃ファイル

- 長時間駐車ファイルの連続保存中に衝撃が発生すると、衝撃発生前の43秒(4fps)からその後15秒(29.1fps)まで(合計58秒)の映像を保存します。



- ※ 衝撃発生時、長時間駐車ファイルと駐車衝撃ファイルの映像が重なる時点(衝撃発生前43秒)は、長時間駐車ファイル、長時間駐車衝撃ファイルにすべて保存されます。

※ 長時間記録モードに設定した場合、状況により事故の瞬間などが記録されない場合があります。

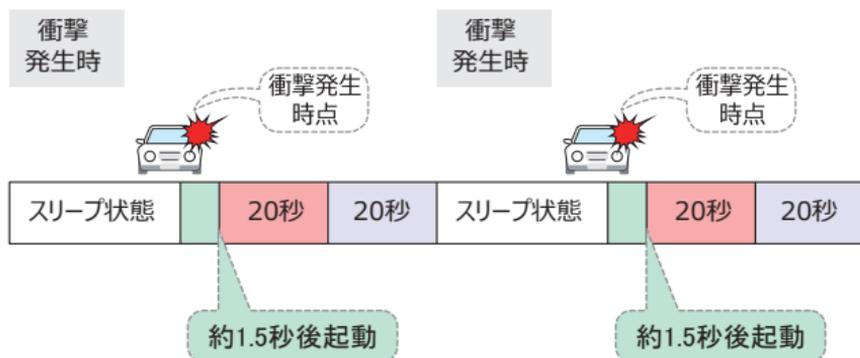
※ 長時間記録モードでは映像に音声は録音されません。

超低電力駐車ファイル

超低電力駐車イベントファイル

### 超低電力モード駐車イベントファイル

- 超低電力モード中に衝撃が発生した場合、衝撃発生後起動時（約1.5秒）から20秒の映像を保存し、続いて駐車ファイル20秒の映像を保存します。



- ※ 超低電力モード駐車イベントファイル / 駐車ファイルを保存した後、次の衝撃が発生するまでスリープ状態になります。スリープ状態では録画は行いません。

※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 超低電力モードでは映像に音声は録音されません。